

第 15 回 ビー・ブラウンフォーチルドレン

「子どもの“こころ”と“からだ”の世界 ～ 幼児期の発達と遊びの中で育まれるもの」

日時： 2017年10月29日(日) 13:00 – 17:00
場所： ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 東京本社 6F
参加者： 6名(同伴のお子さまは、3Fの託児スペースでお預かりました。)



【プログラム】

講師： 鈴木 泰代 先生 (精神科専門医) / 山田 清子 先生 (臨床心理士)



- 1) レクチャー 「子どものこころとからだの世界 ～ 幼児期の発達と遊びの中で育まれるもの」
 - 子どもの心と身体の成長と共にどんな遊びをするようになるのか、その中で何を学んでいくのかを、赤ちゃんから幼児期にかけ、月齢に沿って確認していきました。遊びが子どもに与えてくれるものが、如何に今後の人生の糧になるかを知ることが出来ました。文献や、本についての紹介もありました。
 - 「子どもとちょっと離れた場所で、子どものことを考える良い機会になりました」、「子どもが夢中になれる体験をたくさん与えてあげたい」、という声をいただいています。
- 2) ワークショップ (ロールプレイ)
 - 子どもと大人の絆を深めるプログラム「CARE」の一部を体験。2人一組で行うロールプレイで、「子ども」と「親」の両方の気持ちを感じてみました。親が主導するのではなく、1日5分だけでも、「子どもを主人公にしてあげる」ことで、子どもとのよりよい関係を深めていけることを学びました。この暖かい関係あってこそ、子どもは親からのメッセージをまっすぐ受け止めることが出来ます。
 - 今日からでもすぐ実践できる、具体的なコミュニケーションの手法が盛りだくさんでした。「早速試してみたい」、「CARE」をもっと知りたいという感想をいただいています。
- 3) フリートーク … お茶とお菓子をいただきながら、全員参加のトークタイム
 - 参加者の皆さん一人一人に、幼い頃の「遊び」について話していただきました。「遊び」が、意外と世代を超えて普遍的であることに今回も驚かされました。また、完成されたおもちゃではなく、何でも無いものを、自分が楽しめるよう工夫する中で、豊かな創造性が育まれるのでは？という先生のお話も印象的でした。
 - イベント全体に関しては、「やはり託児が有難い。自分の時間を持つことが出来た」、「とても参考になりました」、「また参加したい」等の感想をいただきました。お天気も悪い中、本当に有難うございました。何かひとつでも、日頃の子育てを楽しくするヒントをお持ち帰りいただけたのなら幸いです。

